

授業科目名	疾病論Ⅱ	担当教員	橋本龍樹、福田誠司、他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2

授業の目的（概要）

疾病が身体や精神機能にどのような影響を及ぼすのかを学習する。疾病論Ⅱでは、アレルギー・膠原病、感染症、脳・神経、血液、運動器の病態について学び、適切な看護計画を立て、実際のケアを行う際の基礎的知識を身につける。臨床検査の基礎においては、さまざまな疾患を有する患者において、どのような検査が行われ、診断・治療に結びついているかを学習する。さらに、脳神経外科の手術、リハビリテーション医学の概要についても学習する。

学修成果（到達目標）

1. 疾患に伴う自覚及び他覚的症候とその病態生理について説明出来る。
2. 系統別に代表的な疾患が列挙でき、その疾病概念、診断（症状、理学所見、検査所見）、治療法、経過、予後について説明できる。
3. 代表的な疾患を診断するための血液検査、生理機能検査、放射線検査及びそれらの検査所見について説明できる。
4. 脳神経疾患と頭部外傷の病態生理を理解し、脳・神経外科における診断法、治療法が説明できる。
5. リハビリテーションの意義、治療法、評価方法について説明できる。

キーワード

脳神経疾患、運動器疾患、整形外科疾患、リハビリテーション医学、血液疾患、アレルギー、自己免疫性疾患、感染症、検査医学、悪性腫瘍

授業の進め方

対面講義、オンデマンド配信講義

成績評価の方法（合否基準）

moodle上でのレポート、試験で評価する。期末試験60点以上を合格とする

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書： 教科書：系統看護学講座（医学書院） 成人看護学 [4] 血液，成人看護学 [7] 脳・神経，成人看護学 [10] 運動器，成人看護学 [11] アレルギー・膠原病・感染症，臨床検査

参考図書：病気がみえる（MEDIC MEDIA） 5血液，6免疫・膠原病・感染症，7脳・神経，異常値のわかるメカニズム（医学書院）

オフィスアワー

橋本龍樹 質問等随時 ryuju@med.shimane-u.ac.jp
福田誠司 質問等随時 sfukuda@med.shimane-u.ac.jp

モデル・コア・カリキュラムとの関連

- C-4-1) 病態の成り立ちと回復過程
C-4-2)-(5) 腫瘍
C-5-1) 病（やまい）に対する人間の反応
C-5-2) 疾病の診断に用いる検査と治療
C-5-3) 主な健康障害と人間の反応
C-5-3)-(2) 血液・造血器系の健康障害と人間の反応
C-5-3)-(8) 免疫系、感染防御系の健康障害と人間の反応
C-5-3)-(9) 感覚器・神経・運動器系の健康障害と人間の反応

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ	授業内容	担当者
1	4月7日	10:25～ 12:05	N11		検査の基礎-1	臨床検査の意義、基礎と原理を学ぶ	矢野先生
2	5月12日	〃	N12	オンデマンド	血液疾患-1	造血の基礎を学ぶ	福田
3	5月18日	14:55～ 16:35	〃	〃	血液疾患-2	血液疾患の病態と治療を学ぶ	福田
4	5月19日	10:25～ 12:05	〃	〃	脳・神経疾患-1	脳神経疾患 総論	長井先生
5	5月26日	〃	〃	〃	脳・神経疾患-2	脳神経疾患各論-1	稲垣先生
6	6月2日	〃	〃	〃	脳・神経疾患-3	脳神経疾患各論-2	三瀧先生
7	6月9日	〃	〃	〃	脳・神経疾患-4	脳神経疾患各論-3	安部先生
8	6月16日	〃	〃	〃	検査の基礎-2	臨床検査の各論を学ぶ	矢野先生
9	6月23日	〃	〃	〃	運動器疾患-1	運動器疾患、整形外科疾患総論	内尾先生
10	6月30日	〃	〃	〃	運動器疾患-2	運動器疾患、整形外科疾患各論、病態と治療を学ぶ	内尾先生
11	7月7日	〃	〃	〃	リハビリテーション医学	リハビリテーションの基礎と臨床を学ぶ	酒井先生
12	7月14日	〃	〃	〃	脳神経外科疾患	脳神経外科疾患の病態と治療を学ぶ	永井先生
13	7月21日	〃	〃	〃	アレルギー、膠原病、感染症-1	アレルギー、膠原病、感染症 総論	福田
14	7月28日	〃	〃	〃	アレルギー、膠原病、感染症-2	アレルギー、膠原病、感染症 各論、病態と治療を学ぶ	福田

備考

on demandの場合は必ずしも授業時間に視聴する必要はありません。講義日程終了までの間、好きな時に視聴できます。
収録の都合によって予定が変更になることがあります。